

---

# 谷津矢車の福袋文屑集

谷津矢車

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

谷津矢車の福袋文屑集

### 【Nコード】

N4113BA

### 【作者名】

谷津矢車

### 【あらすじ】

谷津矢車による、一度お蔵入りにしたものの目の目を見せないのも可哀そうなテキストたちを福袋に詰めて放出。……福袋に期待しちゃいけませんぜ、レディース&ジェントルメン。ライナーノーツも封入します。SFだったり某企画未提出作だったり。

## ラララ僕らのランドセル【1】

以下の文章は、ランドセルメーカーのA社の商品開発会議の際に録音されたボイスレコーダーを入手し、それを書き起こしたものである。当時の雰囲気や言葉の調子を再現するために、録音されている音やどよめきといったものも同時に書き起こすものである。

### 第一回

（咳払いの音）

お忙しいところ、ありがとうございます。では、これより

（伏字）株式会社の新製品商品開発会議を行ないます。司会をさせていただきます専務の井上です。ではまず、社長よりお言葉を頂きたい思います。社長、お願いいたします。

（椅子が動く音）

まあそう固くならなくても結構だ。まずは社の皆の営業努力、商品開発への精力に敬意を表したい。いつもありがとう。

ところで、この会議に集まっている皆なら感じたことがあるかもしれない。……ランドセル開発とは実に難儀だと思ったことはないか？ いや、そう変な顔をするモノでもない。実は、商品開発にいた頃の私自身、そんな気持ちに襲われたことがある。ランドセルについていうモノは、なぜこんなにも進化を求められているのだろうか？

毎年九月に入った頃から、新型ランドセルが出揃う。しかし、他メーカーの開発はどうだ？ やれ『また軽くなりました』、『収納力二十%UP』などと謳っている。しかし、ランドセル業界にいる我々は知っている。その数字は本物だ。あんな小さな、せいぜい六年程度しか使わないものだっていうのに、毎年『軽く』なつて『収納力UP』だ。恐らく、世界の様々な業種の中で一番商品開発が厳しいのはこのランドセル業界だろう。

閑話休題。

とにかく、今年の九月に並ぶ当社の商品が、さらなる進化を遂げていることを祈念したい。……あと言いそびれた。当社の社訓、『要点は短めに、かつ端的に』。いいな。

（席に座る音）

ありがとうございます。では、早速、新商品のプレゼンに移ります。今回は第一回なので、コンセプトの表明となります。まずは、チーム1。

（椅子のきしみ音、歩く音。その音が不意に止む）

ご紹介にあずかりましたチーム1です。私はその代表、鈴原です。さて、早速ですが、我々が開発中のランドセルの説明をしたいと思います。我々はランドセルの軽さを追求しております。社長のお話にもありましたように、もはや日本のランドセルは軽すぎです。革素材を使い堅牢でありながら、既に小学校一年生、つまりは六歳児が背負つても重くないようなものに仕上がっています。ところが、他社の動向を見ていると、やはり『軽さ』は一つの競争点になっています。とはいっても、これ以上軽くするのはもう無理です。

それでは、諦めると言うのか。

いえ、そうではありません。無理な物を努力するのが我々開発部です。我々は、前年モデル比十五%の重量削減を目標にします。もちろん、ランドセルに求められる機能を保持した上です。

ふむ。

（足音、椅子のきしみ音）

では次、チーム2。

はい。

（カツカツという甲高い足音）

ご紹介にあずかりましたチーム2、私、代表の町田です。

我々は、ランドセルを、というよりも、買い手である親御様のニーズに注目しました。犯罪の統計などを見ますと現代は決して犯罪の多い時代ではありませんが、親御様たちは凶悪な犯罪が増加しているという風に捉えているというデータがあります。また、自分の子

供になんらかの防犯対策を、ともお考えのようです。そこで、ランドセルにGPS機能を搭載するという案が出ました。このGPSが親御さんの携帯電話に情報として送られます。親御様がお子さんの位置情報をすぐに把握できる仕組みです。これなら、子供に携帯電話を持たせたくないという教育方針の親御さんにも対応できます。とにかく、親御様のニーズに迫った商品を作る。これがチーム2の方針です。以上です。

（足音が響く）

では次、チーム3、お願いします。

（静かな中、衣すれの音だけが聞こえる）

はい、チーム3の小林です。どうも。他の開発は重さがどのGPSがどのと言っておりますが、結局のところランドセルは鞆です。結局鞆である以上、一番の本義は鞆としての機能にあると考えるものであります。

（舌打ちの音）

我々が提案するのは、鞆としての収納力と、子供の身を守る堅牢さです。ご存じとは思いますが、日本において子供の頭蓋骨折等の事故が少ないのはランドセルのおかげです。幼児、特に小学校一年生程度では未だによく転びますから。とにかく、前年標準モデル比5%ほどの重量増加には眼をつぶって頂くとして、鞆としての収納力を20%UP。さらに、クッション性をUPするための新構造の開発を目指します。我々は以上です。

以上、三チームの発表でした。皆さまからご質問は。

（しんと静まり返る）

（困ったかのように、専務は唸る）

社長、いかがですか。

うむ。

（机を叩く音）

全然駄目だな。

こういう風に、ですか。

まず、まるで面白くない。はっきり言えば魅力を感じないし、そもそも他社との差別化も出来ていない。さつきも話したが、ランドセル業界は競争が激しい。運動力学を用いたランドセルなんて今や陳腐だ。『何%の重量削減』だ、『GPS機能採用』だ、『収納力UP』だ、じゃお客は飛びつかないぞ。もっと遊び心を持つてほしい。それに、もっと客の度肝を抜く物を！ いいな。

（部屋の中、絶句）

（しかし、太いため息が広がる）

しかしながら、方向性はいい。まず、チーム1。

（椅子を蹴る音）

はい！

君たちの軽量化の方向は間違いではない。やはり他社メーカーとの競争の主眼は価格競争と軽量化競争だろう。君たちチーム1のこれ以上の努力を期待する。

お言葉ですが、社長。

なんだね。

正直なところ、革素材でこれ以上の軽量化は難しいものと思われます。これ以上削っては鞆として必要な堅牢性が確保できない恐れがあります。

そこをなんとかするのが君たちの役目だろう。

は、はい。善処します。

（椅子を引いて座る音）

（咳払いの音）

次に、チーム2だが。

（椅子がずれる音）

はい。

君たちの目の付けどころはそれなりに正しい。確かにランドセルを買うのはユーザー本人ではない。ユーザーの保護者だ。そこに着目して、保護者を狙い打ったコンセプトを打ち出すというその着眼点は正しい。だが、君が今プレゼンした内容は、一晩社員が顔を

突き合わせて捻り出せば出る程度のアイデアだ。それくらいのも  
なら他社だつてすぐに出してくる。それに、君自身が言っているじ  
やないか。GPS機能は携帯電話にも付いている。最近では子供に  
携帯電話を持たせたがらない親は減少傾向にあるという。なら、携  
帯電話で子供の位置を把握しようと思うのが人情じゃないか？

そ、それは。

ああ、誤解しないでほしい。保護者を狙うというコンセプトは  
正しい。しかしながら、その結果出てきたアイデアが弱いというだ  
けだ。そこを間違えないように。次までに新たな発想が出てくるこ  
とを期待する。

はい。

（椅子のきしみ音）

さて、チーム3だが。

ども。

（社長の笑い声）いや、お前は変わらん。製造から商品開発  
に回しても相変わらずの職人気質だ。

社長、単刀直入に行きましょうや。現場の職人はこうやって喋  
っている間にもランドセルを拵えているんですわ。

はは、お前には負ける。では、単刀直入に。ランドセルの持つ  
道具としての有用性、そして堅牢性。それは正しい。だが、これは  
当り前に達成されるものであって、声高に主張されるものではない。  
もし主張をしたいというのなら、もっと他社を圧倒するような収納  
力や堅牢性を模索して欲しい。

ふむ、一理ありますわな。わかりました。

（どこからともなく飛び出るため息）

社長。最後にお言葉を。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4113ba/>

---

谷津矢車の福袋文屑集

2012年1月10日21時45分発行